

第3回 尼崎らしいまちづくりのルールを考える市民懇話会「意見交換で出た課題」のまとめ

テーマ「情報発信・共有を進める上での課題」

① 市民個人	② 団体（町会、市民団体、事業者等）	③ 行政
<p>そもそも市政や地域に関心を持っていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市政や地域に対してそもそも興味がなく他人事である ・ 関心が無かったので自分で発信することはなかったし、また求めることもなかった ・ 自分から自発的に動かない ・ 市政や地域の情報を得なくても暮らしていける ・ 緊急のこと、自分に関係あることしか興味がない ・ 自分の興味があることと、市とが繋がらない ・ 若者は市のHPは見ない ・ 若い人が日中、地元にはいない <p>情報を共有する場がない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 団体に所属していない人にとっては不安がある 	<p>市政や地域への関心の有無が二極化している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今ある情報でこと足りる人とそうでない人の二極化 ・ イベントなどでも同じ人しか集まらない <p>情報を共有する場がない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の小さな問題などを誰に聞けば良いかわからない ・ 横の関連情報の共有がない ・ パソコンやSNSを教えてくれる人の存在 ・ つながりが仲間内から超えて広がりにくい ・ 地域への情報発信の仕方がわからない ・ 情報の入手先がわからない <p>町会の情報が入ってこない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町会に入っていないとイベント等を知ることができない ・ 町会が何をしているかよくわからない ・ 町会や子ども会への参加の仕方がわからない ・ 自治会の窓口がわからない <p>町会に入る人が減っている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町会の加入率 ・ 若い世代が町会に入っていない ・ 子ども会がある所とない所がある 	<p>市民・団体・行政のつなぎ役の不足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コーディネーター役がない <p>情報を共有する場がない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報のプラットフォームがない
<p>情報媒体が上手く活用できていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SNSやパソコンを年配の方が使いこなせない。 ・ 情報の二極化（NET・非NET）がおきている。 	<p>情報媒体が上手く活用できていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 掲示板が少ない ・ 回覧板が有効に使われていない 	<p>情報媒体が上手く活用できていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 掲示板が上手く活用されていない（存在が薄い、見にくく汚いなど） ・ 市報が活用されていないのではないかと（配り方が良くないなど） ・ 市がSNSを活用していることを市民が知らない ・ 市HPから情報元にたどりつかない ・ 市の広報が見にくい
<p>市民が自ら、関心を持つような情報が発信できていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関心のない人にいかに伝えていくか ・ 情報が溢れて多すぎる ・ チラシなどの発信のタイミングが遅い 	<p>市民が関心を持つような情報が発信できていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発信した結果の検証ができていない ・ 専門用語を使うと伝わりにくい ・ ほしい情報が提供できていない ・ 自分の思いと違った形で伝わってしまう <p>ターゲットが明確になっていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ターゲットの絞り込みができていない ・ 全ての人に全ての情報を伝える必要があるのか ・ 何のために伝えるのかという目的がはっきりしていない 	<p>市民が関心を持つような情報が発信できていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報が多くて混乱する ・ 文字ばかりで読むのが嫌になる <p>ターゲットが明確になっていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての情報を全員に伝える必要があると思っている ・ 関心がなければならぬと思っている ・ ターゲットが絞り込めていない ・ 情報の切り分けができておらず、ばら撒きになっている
<p>お互いの話を十分に聴けていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 価値観が違うことが理解できなかった ・ 間違いは素直に認める、相手の考えを聴くなど 		

第3回 尼崎らしいまちづくりのルールを考える市民懇話会「振り返りシート」のまとめ

テーマ「情報発信・共有を進める上で、それぞれが取り組むこと」

① 私がすること、できること	② みんなですること、できること	③ 行政主体ですること、①②のために行政がすること
<p>自ら情報に関心を持つ</p> <ul style="list-style-type: none"> 少しでも多くの分野に関心を持ち、出来るだけ地域の活動に参加する <p>自ら情報を伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> ママ同士で話をしたり、知っている情報は自分から身近な人に発信して口コミで広げる 地域の住民に対して、町会・諸団体また趣味の会を通じて情報を提供する 受信者のターゲットを絞り、ターゲットがいるところを洗い出す 何かの分野のエキスパートになる <p>情報を伝える相手を増やす</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の知り合い、友人を増やす 	<p>気軽に情報を共有できる機会をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民が気軽に集まれる場をつくる（デニーズのおばちゃん会やラジオ体操など） コミュニティづくりは自分たちで楽しく面白く行う（仕事や学校の妨げにならない程度に） 地域リーダー（情報の窓口になる人）をつくる 横のつながりを強くする 集まりに参加できない人たちを把握し、理由を皆で共有する 一番効果的なことは口コミであり、口コミ伝播の輪を地道に広げていく <p>町会に願う</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域ニュースを発信する 自治会、町内会を活性化する 町会や子ども会の復活 町会の加入者を増やすために町会も働きかける 	<p>気軽に情報を共有できる機会をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民のつながりをつくるイベントを開催する 情報が多いので若い世代にはSNSを使ってターゲットを絞る面があっても良いかもしれないが意見交換の場を多くつくる <p>情報へのアクセシビリティを高める</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報を拾えるところを一つにして、その中で目的に応じた窓口を分ける 市HPについて「窓口」を多くする（必要な情報は個人で異なり多様なので） アクセスしやすいホームページの作成（ページの工夫） 1つアクセスした後「他の方はこんなことを調べています」のようなタグ付け、情報の切り分けをする <p>市民主体の活動を支援する</p> <ul style="list-style-type: none"> 「市民個人が行うこと」の枠組み自体を市民主体でつくるために認可を取り易くすれば良い
<p>町会と協力する</p> <ul style="list-style-type: none"> 町会の活動を知り、出来るだけ参加し、町会の情報発信の提案をする 町会へコミットし、「我が家掲示板」をつくる（私の家ではこんなことが流行っていますなど） 	<p>町会と協力する</p> <ul style="list-style-type: none"> 皆で地域でのコミュニティ活動をどうつくっていくのか考える 自治会活動等へ積極的に参加する 	<p>町会を支援する</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会福祉協議会の活動をこれまでアプローチできていない人にまで届けるサポートをする 自治会組織を改善する
<p>市政や地域に興味・関心を持てる機会をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの頃から市政に興味を持てるような環境をつくる（子どもに市政のことを話したり、選挙に連れて行ったりする） 		<p>市政や地域に興味・関心を持てる機会をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> 郷土愛を育てる（知識とやる気を幼少の頃から育てる）
<p>情報媒体を活用する</p> <ul style="list-style-type: none"> facebook やラインを活用する（リアルタイムで情報が入るメリット） <p>情報媒体の使い方を身近な人に教える</p> <ul style="list-style-type: none"> 回覧板を回す仕組みなどを知らない人には教えてあげる 地域の課題などについて、行政や地域の誰に聞いたら良いかわからないという人がいれば教えてあげる 市からの情報提供媒体（SNSや市報）など知らない住民に知らせる ネットが使えない人に対して使い方を教える 	<p>情報媒体を活用する</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の掲示板を有効活用する 知りたい情報にすぐアクセスできるよう情報源の共有も有効ではないか 	<p>情報媒体を活用する</p> <ul style="list-style-type: none"> 紙媒体、人づて（回覧板のようなもの）の仕組みを工夫する 掲示板を活用する 自治会の掲示板を一新する際に費用を援助する 市役所、町内会それぞれの掲示板を統一、整備する 市報の配布方法を改善する メーリスがあればしてもらえると嬉しい <p>情報媒体の使い方を教える</p> <ul style="list-style-type: none"> facebook、ラインの存在を広め活用する SNSが使えない人への講習会を実施する 情報は、公民館等で閲覧できるよう優しく指導（わからない人にも親しんでもらう）
<p>市民が自ら、関心を持つような情報に編集し発信する</p> <ul style="list-style-type: none"> 受信者が興味、関心を持てるような工夫をして情報を発信する 目的に応じて内容や発信の仕方を変えていく必要がある 発信する内容を簡潔にまとめ、「より正確に」「タイムリーに」発信する 	<p>市民が関心を持つような情報に編集し発信する</p> <ul style="list-style-type: none"> 発信者は発信した情報が受け手にとってどのような影響を与えたのかを検証する 多様な価値を持つ市民に対し、「緊急なこと、生命に関すること、その人にとって価値のあることなど」を含んだ情報を発信する 	<p>市民が関心を持つような情報に編集し発信する</p> <ul style="list-style-type: none"> 若い世代の目を引くような広報物をつくる <p>すべての人に届けようとしな（ターゲットを明確にする）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「全ての人に全ての情報を伝える」ではなく「欲しい情報にすぐに簡単にアクセスできる」というベクトルに方向転換する 全員に全ての情報を伝えようと思わない⇔関心のない人にも関心を持ってもらう努力をする 参加者の関心事、置かれている立場、この違いを知った上で情報も発信する <p>情報の優先度を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> 膨大な量の情報を振り分けるには、優先度をつけられる工夫が必要
<p>市民の話を聴く</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手の考えや思いを聞くことをメインにして、情報を必要なタイミングで提供する 	<p>市民の話を聴く</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民の関心を引くには市民の知りたいことを知る必要がある 	<p>市民の話を聴く</p> <ul style="list-style-type: none"> 受信者とのキャッチボールを通してHPを分かり易い構成に改善する
<p>行政職員と交流する</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政、民間それぞれの職員が交流を持つようにする 「こんな理由でこんな情報を知りたい」という声を発信していく 		<p>市民と交流する</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民にとって市政、市職員、政治家などをもっと身近な存在にしていく